

# ふじみさらだボール子育て情報



「自己性の芽生え」  
平成29年10月4日号  
板橋富士見幼稚園



## 「こだわり」と「いいや」

子どもは、一歳頃から、気質と言われる色や形、しぐさなどの感覚が見えるようになって来ます。

そして、二歳頃から性格が徐々に作られ始めます。いままで、親が指示したりするだけで素直に動いてくれた我が子も、最近は「いや、ダメ」などが頻繁に起こり、つい叱っていませんか。実は、自我が芽生え始め、周囲の動きが分かるようになってきた証拠なのです。自己性の始まりです。自己性は一歳から徐々に形成され、自分という性格を作り出していくモノです。自分と他者との違いや、自分の「欲」や価値付け「欲しい、いらない」などが、はっきり主張出来るようになります。こうした主張は、できる限り尊重することで豊かな人格として成長していきます。そのため、「こだわり」が強くなり、親を手こずらしているわけです。

その子その子によってこだわりはさまざまで、また成長にによって変化するので、親も戸惑うことがあります。言葉でうまく伝えられないことも多いので、親は子どもの思いを読み取り、「そうなのね」と受け止めながら、時に親の考えを言い聞かせていくことも大切です。



また、こうした中で、「いいや」と物事に対して、頓着なく打算的になることもあります。「お片付けしないと大事なおもちゃがなくなっちゃうよ」と伝えても「なくなってもいいの」と言ったり、やりたいと言っていたのに急に「いいや」と言ったりします。こうしたなげやりな行動が見られたときは、親がモデルを示して行動してみせることが大切です。

「無くなっちゃったら悲しいからお片付けしよう」と片付けたり、「やってみようよ、ママやりたいな」と親があきらめずに行動

したりする姿を見せていきましょう。そして「〇〇ちゃんも一緒にやろう」と誘ってみてください。子育ては大変と思われる時もあるでしょうが、日々成長する子どもの姿は大きな喜びとなります。今の毎日を楽しみましょう。